

教員名	李 美静 (LEE Meichin)
所 属	人間文化研究科
学 位	博士 (人文科学)
職 名	リサーチフェロー
URL / E-mail	meichinlee@hotmail.com

◆研究キーワード

第二言語習得 / バイリンガル / 中国語 / 日本語 / 日中二言語習得

◆主要業績

総数 (4) 件

- ・李美静 (2006)「中日二言語のバイリンガリズム」, 風間書房
- ・李美静 (2006)「在日台湾人子どもの読解力の測定: 中国語母語話者と日本語母語話者の読解力を比較分析する」, 『世界の日本語教育』,16,19-33.
- ・MC. Lee (2006) Language Acquisition among New-Generation Heritage and Non-Heritage High School Students: Social and Psychological Factors, International Conference on Japanese Language Education (ICJLE),2006.8 (NY)
- ・李美静 (2006)「海外児童・生徒の二言語教育の調査」, 社会言語科学会(第18回大会),p.132-134.北星学園大学,2006.8

◆研究内容

従来の第二言語習得研究では聴解能力 (hearing)を指標とした短期的実験が多数あるが,本研究は,これまでほとんど明らかにされてこなかった,台湾在住の国際結婚家庭の子どもの日本語及び中国語の二言語を併用する子どもの二言語習得のメカニズムをとらえる目的で日本から移住した子どもたちの母語保持・中国語習得の過程について様々な側面から検討することを目的とした。日中の二言語習得過程に影響する要因を年齢的な側面,環境要因,心理的要因の側面から検討し,「第二言語の獲得に敏感期はあるのか」「在外児童・生徒の言語獲得の実態と,母語保持と第二言語習得のパターンに影響する要因は何か」という問を明らかにすること

◆Research Pursuits

A Study of Chinese and Japanese Language Acquisition of the Overseas Students

The purpose of this research is to reveal the mechanism of two language acquisition of the children who use two languages of Chinese and Japanese together, and to examine the factors which had an influence on it.

A language vocabulary proficiency test and a questionnaire on language environment were administered, and the correlation between the environmental consciousness and language proficiency was examined.

◆共同研究例

バイリンガル（日、中、米）の研究に関する研究

◆共同研究可能テーマ

- ・学習観についての国際的比較研究

◆将来の研究計画・研究の展望

台湾在住の日本人の子どもの日本語・中国語の併用における二言語習得について、学習開始年齢と滞在年数の違いによって、どのような影響を及ぼすのかを検討します。また、「日本と台湾の大学生の学習観についての国際的比較研究」について、日本と台湾の大学生が持つ学習観について、認知、情緒的、行動的、道徳的な側面の自由記述調査によって検討する予定です。